

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年2月28日 (2013.2.28)

【公開番号】特開2010-180206(P2010-180206A)

【公開日】平成22年8月19日 (2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2010-3318(P2010-3318)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/375 (2006.01)

A 6 1 K 31/135 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/375

A 6 1 K 31/135

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 9/107

A 6 1 K 9/08

A 6 1 P 17/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月16日 (2013.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ジフェンヒドラミン、アスコルビン酸、又はそれらの塩を含有する外用組成物において、
ムコ多糖類の 1 種又は 2 種以上を共存させる、ジフェンヒドラミン、アスコルビン酸、
又はそれらの塩を含有する外用組成物の変色抑制方法。

【請求項 2】

ムコ多糖類が、ヘパリン類似物質、コンドロイチン硫酸及びその塩、ヒアルロン酸及び
その塩、ヒアルロン酸誘導体及びその塩、並びにデルマトン硫酸及びその塩からなる群から
選択される 1 種又は 2 種以上である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

ムコ多糖類が、ヘパリン類似物質、並びにコンドロイチン硫酸及びその塩からなる群から
選択される 1 種又は 2 種以上である、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

ジフェンヒドラミン又はその塩を含有する外用組成物が、乳化物である、請求項 1 ~ 3 の
いずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

アスコルビン酸又はその塩を含有する外用組成物が、液剤である、請求項 1 ~ 3 のいずれ
か一項に記載の方法。

【請求項 6】

ジフェンヒドラミン、アスコルビン酸、又はそれらの塩が 1 重量部に対して、ムコ多糖類

の 1 種又は 2 種以上を 0 . 0 0 3 ~ 1 0 重量部共存させる、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

変色が、熱及び / 又は光によるものである、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

ムコ多糖類の 1 種又は 2 種以上を有効成分とする、ジフェンヒドラミン、アスコルビン酸、又はそれらの塩を含有する外用組成物の変色抑制剤。